

人生、ここにあり！（2008）

SI PUO FARE

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ

製作国 イタリア

色彩 Color

時間 111分

初公開日 2011/07/23

公開情報 エスペース・サロウ

映倫 G

【キャッチコピー】

未来は自分で照らすのさ

これは、イタリアで始まった本当の“しあわせ革命”

【解説】

1978年、イタリアでは精神病患者を無期限に収容することを禁止する精神病院廃絶法が制定され、患者たちは入院治療ではなく地域の精神保健サービス機関で予防や治療に当たりつつ、地域社会との共存を実現していく体制へと移行された。本作は、その取り組みが行われていく中で実際に起こった出来事を実在のグループホームをモデルに映画化したヒューマン・コメディ。“やればできるさ”を合言葉に、世界で初めて精神病院を廃絶する画期的な取り組みを巡る希望と現実を温かな眼差しでユーモラスに描き出していく。監督はこれが日本初紹介のジュリオ・マンフレドニア。

1983年、ミラノ。正義感にあふれる労働組合員のネッコは、異端すぎたために反発を招き、クビ同然で新たな組合に異動させられてしまう。そこは、廃止された精神病院を出てきた元患者たちで構成された協同組合だった。しかし、戸惑いつつも決して腐ることのない熱血漢、ネッコ。彼は、目的もなく無気力に過ごす元患者たちを見て、自ら稼ぐことでやる気を取り戻してもらおうと、建築現場の“床貼り”を請け負う事業を立ち上げるのだったが…。

【クレジット】

監督	ジュリオ・マンフレドニア	Giulio Manfredonia	
製作	アンジェロ・リッツォーリ	Angelo Rizzoli	
原案	ファビオ・ボニファッチ	Fabio Bonifacci	
脚本	ジュリオ・マンフレドニア ファビオ・ボニファッチ	Giulio Manfredonia Fabio Bonifacci	
撮影	ロベルト・フォルツァ	Roberto Forza	
美術	マルコ・ベルッツィ	Marco Belluzzi	
衣装	マウリツィオ・ミレノッティ	Maurizio Millenotti	
編集	チェチーリア・ザヌーゾ	Cecilia Zanuso	
音楽	ピヴィオ アルド・デ・スカルツィ	Pivio Aldo De Scalzi	
出演	クラウディオ・ビシオ アニタ・カプリオーリ ジュゼッペ・バッティストン ジョルジョ・コランジェリ	Claudio Bisio Anita Caprioli Giuseppe Battiston Giorgio Colangeli	ネッコ サラ フルラン医師 デルベッキオ医師

アンドレア・ボスカ	Andrea Bosca
ジョヴァンニ・カルカーニョ	Giovanni Calcagno
ミケーレ・デ・ヴィルジーリョ	Michele De Virgilio
カルロ・ジュゼッペ・ガバルディーニ	Carlo Giuseppe Gabardini
ナターシャ・マクニッツ	Natascia Macchniz
ダニエラ・ピッペルノ	Daniela Piperno
フランコ・ピストーニ	Franco Pistoni
ローザ・ピアネータ	Rosa Pianeta
ピエトロ・ラグーサ	Pietro Ragusa